

神戸新聞読者クラブ

奥さま手帳

毎月、兵庫を再発見。

2022年
4月号
NO.585

兵庫で、外国気分。

まちなかのグッドデザイン。



表のロンドンタクシーが目印。プレーン、チョコ、ドライフルーツなど季節のスコーンが各345円から。ソーセージやスコッチエッグ、パンや果物入りのピクニックランチ各745円。英国焼き菓子やケーキも素朴な味。



マーケットロンドン | 姫路市

イギリス田舎町のファームショップを思わせる温もりのある空間。ビッグなカントリーケーキは「おばあちゃんがつくる懐かしい感じに」。スコーンはロンドン郊外の行売りができる店の主人・サマンサさんに教わるなどメニューそれぞれに物語がある。オリジナルの紅茶やハニージャムのほか、旬の野菜や姫路の精肉店「ファインコスト」のソーセージ、神河町産ニンジンを使ったジュースなど播州のローカルフードも気になる!

▷姫路市広畑区早瀬町1-9-2 ☎079-238-2789
午前10時30分～午後6時 木曜休 ⑦7台
[みなとのてんらんかい]から東へ徒歩約8分

おうちでも
外国気分!



店の数は東京代官山を旗艦店として13店も。2019(平成31)年には「みなとのてんらんかい コンセプトショップ 広畑店」を誕生させた。その1階にはブリティッシュスタイルのティールーム。「イギリスで仕事の合間に立ち寄った気どりのない雰囲気のお店を再現したくて。スコーンやケーキのレシビは現地の店で親しくなったオーナーに教わったもの。この大きなサイズ感には譲れません」。素朴な味も雰囲気も、まさに「兵庫の中のイギリス」を体験できるのは貴重。近くに昨年、フードショップ「マーケットロンドン」もオープンし、自宅でイギリスの食文化を楽しむのにぴったり。



毎シーズンの新作が楽しみなリバティプリントのファブリック。その生地で作ったウェアや雑貨も。長く愛用したい暮らしを豊かに彩る品々がそろう。

みなとのてんらんかい コンセプトショップ 広畑店 | 姫路市

初夏にはバラの香りに包まれるアプローチの先。扉の向こうに広がるティールームはイギリスで買い集めたヴィンテージのイスやテーブルが配され、知人のリビングを訪ねたような居心地の良さ。スコーンやケーキを紅茶と一緒に味わいながら自分の時間を過ごせるのが魅力だ。2階は英国伝統のリバティプリントやウィリアム・モリスのファブリックを使用した洋服や雑貨が豊富に。ゆっくり買い物を楽しんで。

▷姫路市広畑区早瀬町3-21 ☎079-238-2772
午前11時～午後5時 水曜休 ②20台 道案内/電車→JR山陽本線はりま勝原駅から南東へ徒歩約16分 車→姫路バイパス中地ランプから南西へ約7分

イギリス気分 で ティータイム

ほの暗い照明に心が落ち着く。ライセンス契約を結んだ〈ピーターラビット™〉にちなんだピーターズアフタヌーンティー2,420円。好みのスコーンとケーキに、サンドイッチ。8種類から選べる紅茶は160年の伝統を誇るバーレイ社の陶器で。ケーキセット1,100円、スコーンと紅茶のクリームティー935円も人気。



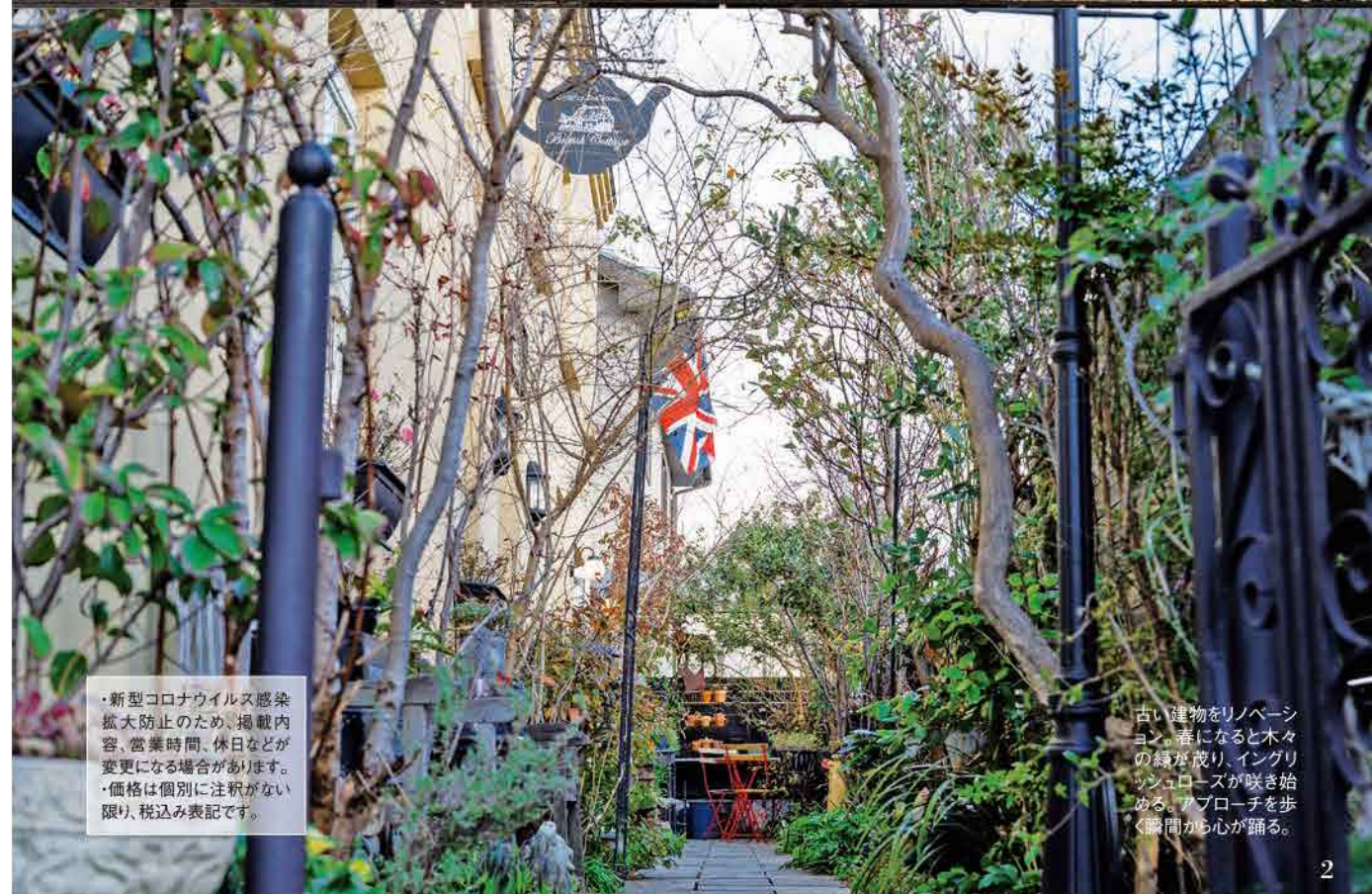
BEATRIX POTTER™ © Frederick Warne & Co., 2022

兵庫で、 外国気分。

撮影/Ayami 岡本佳樹 沖本 明 本郷淳三 前田博史
取材・文/伊藤順子 杉田裕路子 野上知子

海外を
旅する気分で
兵庫を巡ろう!

旅が恋しい人に人気上昇中、近場を楽しむ「マイクローリーズム」に注目! 「ここは外国?」と心弾ませる異人館やリゾート、本場の空気感、グルメが楽しめる兵庫のお店を訪ねよう。イギリスの田舎の暮らしに魅せられ、30年近く現地に通い続ける田中じゅん子さんが始めた、上質な綿100%で着心地がいい英国伝統のリバティプリント生地で作ったアパレルの店「みなとのてんらんかい」。「心地よさこそ最高のぜいたく」をテーマに、現地で買った生活雑貨を通して豊かなライフスタイルの提案にファンが増え、直営



・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、掲載内容、営業時間、休日などが変更になる場合があります。
・価格は個別に注釈がない限り、税込み表記です。

古い建物をリノベーション。春になると木々の緑が成り、イングリッシュローズが咲き始める。アプローチを歩く瞬間から心が踊る。

フォトジェニックな 3つの神戸旅。

PART 1 まるでヨーロッパ!? 北野の異人館巡り。

明治に神戸港が開港して以降、居留地で働く外国人が住居を建てたのが港を眺める北野周辺。1960年頃までは200軒近くもあり、神戸に異国情緒あふれる文化を根付かせた。現在はイタリアやイギリスなどさまざまな国の約15棟が公開され、それぞれ個性を放つ。多くは海側にバルコニーを持つコロンIAL様式。まちの歴史を見つめてきた建物はもちろん、アンティークの家具や装飾品などを通じて外国の文化や芸術、暮らしに想いを馳せたい。



裏庭には南イタリア風のカフェが。奥さま手作りの洋菓子と季節のフルーツとドリンクが楽しめる本日のケーキセット1,200円。

イタリアの
アンティーク家具が
美しい邸宅へ。

本物の
メイドさんが
ご案内

プラトン装飾美術館 | 中央区

異人館街で唯一、住居として使われている洋館。主人が長い年月をかけて蒐集したイタリア製のアンティーク家具、絵画、彫刻、工芸品などを展示する。「『銀食器は使うため、絵画は部屋に飾るためのもの。大切に使うことに意味がある』とオーナーはおっしゃっているんですよ」と、メイドさんがエピソードを添えて丁寧に案内してくれる。「美術鑑賞のんびりカフェタイムなど、親戚の家に遊びにきた気分で気軽に過ごしてくださいね」。

▷神戸市中央区北野町1-6-15 ☎078-271-3346 午前10時～午後5時(カフェは土・日曜・祝日の午前11時30分～午後3時30分ラストオーダー・予約不可) 入館料/大人800円、中高生500円 火曜休(要確認) ②なし



1階はロダンの彫刻が飾られたサロンや、イタリア人彫刻家ピクター・エモースによる家具が並んだダイニングなどお客さまをもてなす部屋。2階は絵画が飾られた応接室や中国風の調度品でまとめられた書斎、ベッドルームやバスルームなどプライベートな空間に。光が差し込む階段は人気のフォトスポット。半地下にはワインセラーもある。



【日本シャーロック・ホームズ・クラブ】の助言を得て作品の描写に基づき忠実に再現した部屋は、今にも会話が聞こえてきそう! 事件の名場面を再現した仕掛け、ピストルやパイプなど7つ道具も展示。

華麗な英国文化。
名探偵ホームズの
世界に迷い込む。



英国館 | 中央区

明治末期築のドイツ人医師・フセデックの診療所兼住居だった館。19世紀の芸術家ウィリアム・モリスの装飾や、初夏にバラが香るイングリッシュガーデンなど格式高いイギリス邸宅の雰囲気が味わえる。2階には「世界で最も有名な英国人」名探偵シャーロック・ホームズの小説を再現した部屋も。トレードマークである帽子とマントを着て館内を巡り、ロンドンのメトロを模したスポットで記念撮影を!

▷神戸市中央区北野町2-3-16 ☎0120-888-581(代表) 午前9時30分～午後6時(4～9月は午後5時まで。いずれも最終入館) 入館料/大人750円、小学生100円 無休 ②なし

英国の狩猟家を
イメージした
迫力のコレクション。



真っ赤な壁を背に立つ、大きな白熊が迫力満点! 2階のブルーの部屋には世界各国から集めた蝶の標本が並ぶ。羽の色が神秘的。よく見ると1つだけ蝶ではない額が!?

ベンの家 | 中央区

明治～大正期築の西洋館で、英国人冒険家ベン・アリソンの寓居であったとされる館。現在は氏のコレクションをイメージした博物館に。全長3mの白熊や白狼、アメリカバイソンなどのはく製が今にも動き出しそう。鮮やかな色使いの壁や、部屋ごとにテーマの異なるインテリアを眺めていると、不思議な空間に迷い込んだよう。

▷神戸市中央区北野町2-3-21 ☎0120-888-581(代表) 午前9時30分～午後6時(4～9月は午後5時まで。いずれも最終入館) 入館料/大人550円、小学生100円 ※【コーベニア】は入館料不要 無休 ②なし



庭から眺めるコロンIAL様式のバルコニーが印象的。重厚感ある英国風バブのパーカウンター、正面玄関には王室御用達のタイムラー・リムジンもあり、ぜひ写真を撮りたい!



道案内/電車→各線三宮駅から北へ徒歩約15分 車→阪神高速神戸線生田川出口から北へ約5分 ※【英国館】「ベンの家」【洋館長屋】をじっくり楽しむお得な北野通り3館パスもあり。大人1,400円、小学生300円、幼児無料

建築美を楽しむ 王子公園さんぽ。

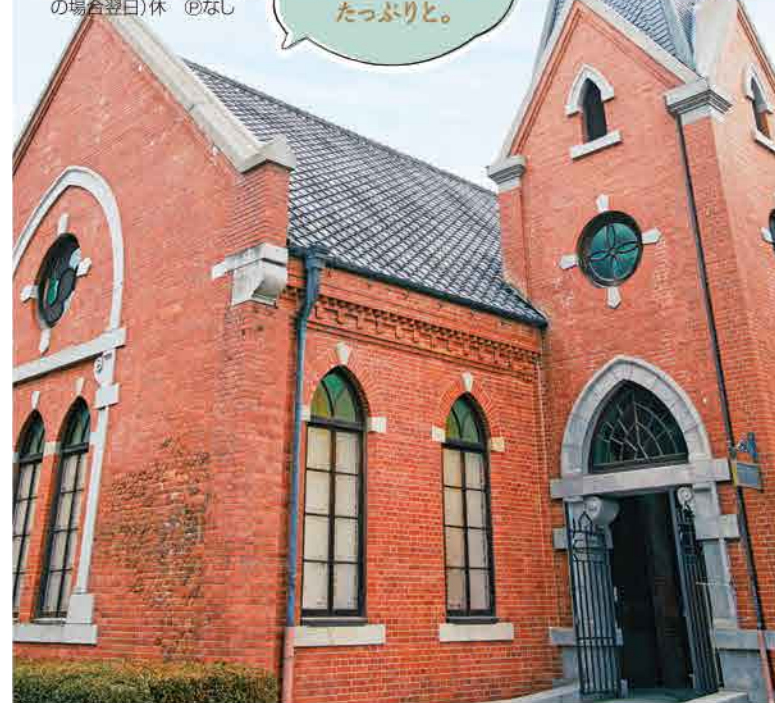
イギリス積み風の赤レンガに覆われた「神戸文学館」は関西学院大学の礼拝堂だった建物。戦災で失われた屋根や塔は1993（平成5）年の工事でよみがえった。高い天井を支えるアーチ型の木造梁、ラムネ色のステンドグラスや窓のブドウ蔓の装飾が施された空間に佇むと、厳かな気分と合わせて巡ろう。

神戸文学館 | 灘区

1904（明治37）年に完成したレンガ造りの教会建築。現在は神戸を舞台に活躍した37名の作家を紹介する文学館として親しまれる。この原田の森にキャンパスを置いた関西学院大学は昭和初めに西宮に移るまでの40年間、多くの人材を輩出し、港町・神戸ならではの文学を生む原動力に。開催中の企画展は8名の文豪と神戸の関わりを知る絶好の機会。

▶神戸市灘区王子町3-1-2
☎078-882-2028 午前10時～午後6時（土・日曜・祝日は午前9時～午後5時）入館無料 水曜（祝日の場合翌日）休 ㊟なし

クラシカルな教会で文学のまちをたっぷり。



幅10.6mの梁が屋根を支える大空間。右は、現在開催中の企画展で人気の江戸川乱歩のコーナー。作品の題材を探す乱歩が昭和初期の元町商店街を歩いているイメージで展示。

■文豪とアルケミスト×神戸文学館「蘇る神戸ゆかりの文豪たち」展を開催中。話題のゲーム「文豪とアルケミスト」に登場する夏目漱石、正岡子規、高浜虚子、谷崎潤一郎、江戸川乱歩ら8名の文豪と、神戸との関わりを展示。神戸での足跡を貴重な写真を交えて辿り、「文学のまち 神戸」を再認識。5月22日（日）まで。



道案内／電車→阪急神戸線 王子公園駅から徒歩約5分 車→阪神高速神戸線摩耶出口から北西へ約5分

自然に溶け込む
優しい緑の異人館。

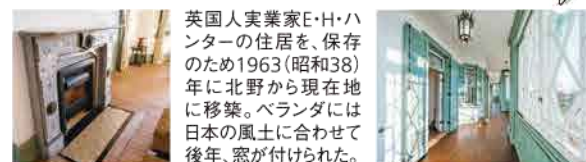
旧ハンター住宅 | 灘区

淡いミントグリーンの外壁、白い格子窓が、王子動物園の大きな自然になじむ異人館。満開の桜、爽やかな深緑を楽しめる4～5月は内部を公開中。1階の書斎、応接室、食堂、2階の居間と寝室など神戸最大級の広々とした洋風建築を見学できる。英国製ステンドグラスが輝く階段で、南・東面を取り巻くコロネード（列柱）式ベランダへ。心地良い光が満ちる中、窓越しの眺めをのんびり楽しみたい。

▶神戸市灘区王子町3-1 王子動物園内
☎078-861-5624（代表） 午前9時30分～午後4時30分（11～12月は午後4時まで）入館無料（動物園入園料600円が必要。中学生以下と兵庫県在住の65歳以上は無料）4・5・10月の水曜と1・2・8月は休（3・6・7・9・11・12月は土・日曜・祝日のみ公開。春休み期間の平日は公開） ㊟あり



常設展では明治以降の時代ごとに作家の作品や資料を。左は詩人・竹中郁の実際の書斎を再現した展示。右は横溝正史のコーナー。



英国人実業家E・H・ハンターの住居を、保存のため1963（昭和38）年に北野から現在地に移築。ベランダには日本の風土に合わせて後年、窓が付けられた。



PART 3 シーサイドが絵になる 舞子の洋館へ。

明治・大正期に関西随一の別荘地として栄えた舞子浜。明石海峡大橋をのぞむ八角三層の中国風楼閣がある洋館は、中国の革命家・孫文を讀める記念館。楼閣の窓からは大阪湾、淡路島などの眺望が広がる。その東には明治の優雅な暮らしを体感できる「旧武藤山治邸」も。海辺に佇む洋館、館内から眺める海、どちらもドラマチック。



中国への想い。
大正ロマン香る
八角形の楼閣。

孫文記念館（移情閣）

そんぶんきねんかん いじようかく | 垂水区

中国人実業家・呉錦堂の別荘「松海別荘」が前身。大正初めに孫文が準国賓として来日し神戸に来た際、財界人と歓迎会を開き、ゆかりの建物に。呉氏の還暦時に新設した楼閣は故郷への想いから「移情閣」と命名された。1984（昭和59）年からは記念館として公開。復元工事で蘇った英国製タイル、大正ロマン香る金唐紙が往時を物語る。

▶神戸市垂水区東舞子町2051 舞子公園内
☎078-783-7172 午前10時～午後5時（入館は午後4時30分まで）入館料／大人300円、高校生以下無料 月曜（祝日の場合翌日）休 ㊟あり



道案内／電車→JR神戸線舞子駅・山陽電車舞子公園駅から徒歩約5分 車→第二神明道路高丸ICから南へ約10分 ※[孫文記念館][旧武藤山治邸][旧木下家住宅]3邸共通入場券もあり。大人340円



カフェはコーヒーや紅茶などドリンクのみで各300円。テラスに座ると明石海峡大橋が迫り、風が心地よい。芝生の席はペット同伴可。



神戸と孫文の関わりを中心に、呉錦堂の生涯などの資料を展示。金唐紙が壁を彩り、2階天井には鳳凰と牡丹の中国彫刻が。5月から秋ごろまで外壁改修工事予定ゆえ見学はお早めに。

家具や絵画も当時のまま。
明治の優雅な暮らしを。

旧武藤山治邸

きゅうむとうさんじてい | 垂水区

鐘紡の中興の祖と言われ、衆議院議員として活躍した武藤山治が明治期末に建てた住宅。海に張り出す円形バルコニーが特徴的で、ステンドグラスや暖炉、家具、絵画などの調度品は当時のまま。「国の登録有形文化財の建物を有効活用したい」という館長・米津寛司さんの思いから催される、神戸を中心に活躍するアーティストのジャズライブが好評。

▶神戸市垂水区東舞子町2051 舞子公園内
☎078-785-8610 午前10時～午後5時（入館は午後4時30分まで）入館料／大人100円、高校生・65歳以上50円 月曜（祝日の場合翌日）休 ㊟あり

季節を反映したテーブルコーディネートも楽しみ。夫人の寝室だった南西に窓を設けた部屋からは、美しいサンセットが望める。



オーベルジュ フレンチの森 ラ・ローズ | 淡路市

豊かな緑が広がる淡路島の山の上、島の食材を主役にした本格フレンチが楽しめる宿泊型レストランが昨年オープン。フランスの片田舎をイメージした庭に建つ3つの建物はそれぞれ1階がレストラン、2階に泊まれる部屋が。各棟にシェフが付き、テーマが異なる料理で楽しませてくれる。その1軒「ラ・ローズ」では、フランスミツ星レストランで研鑽を積んだ村上遼太郎シェフによる和のテイストを取り入れたフランス料理を。食事だけの日帰り利用もできるので、気軽に〈フランス〉を訪れて!

▷淡路市楠本2593-8 ☎0799-70-9062
午前11時30分～午後1時、午後5時30分～午後7時(いずれも最終入店) 宿泊料/1泊2食付き1人28,000円～(2人1室利用。季節で料金は変動) 火曜休(グランド・バオバブ水曜休、フランス・エトワール木曜休。いずれも祝日の場合営業) ※要予約。10歳以下は利用不可 ◎40台 道案内/電車→JR神戸線・山陽明石駅から徒歩で明石港へ。淡路ジェノバラインで岩屋港へ。北淡路周遊バスに乗り換え、フレンチの森下車すぐ 車→神戸淡路鳴門自動車道淡路ICから西へ約6分



フランスの
小さな村のような
一軒家フレンチ。



「ラ・ローズ」[グランド・バオバブ][フランス・エトワール]の3棟が。雄大な空と山の景色を眺めるガーデンには、ハーブやリンゴの樹も植えられ、今後はフードイベントなどを企画中。ヨーロッパから取り寄せた華やかな馬車が飾られ、非日常気分!



「ラ・ローズ」のシェフおまかせランチコース7,000円から。前菜のホタテと淡路野菜のマリネ。メインの淡路ビーフのロースト。島の旬食材をふんだんに、エチューベ(蒸し焼き)やソースにだしを使うなど和の要素を巧みに取り入れる。内容は月替わり。



「ひと皿ずつワインとのペアリングをお勧めしています。ノンアルコールワインも完備」とソムリエ資格も持つ村上シェフ。右はフランスの邸宅を思わせる2階の客室。窓から淡路島の美しい自然を一望できる。

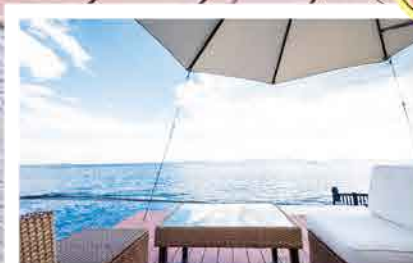


異国情緒な
お店へ。

ここは
兵庫?

兵庫のまちなかで、海辺や山あい、〈外国〉のような風景を楽しめるカフェやレストランを紹介。店主が愛する国の建物や暮らしを表現した空間や、心が浮き立つリゾート感。料理やスイーツを楽しみながら、旅気分になりたい!

青空と海が主役!
絶景テラスで
パカンス気分。



目の前が海! のテラスは特等席。心地よい風に吹かれてのんびりくつろぎたい。午後2時から注文できるミックスベリーパンケーキ、オレンジパンケーキ各1,250円。卵多めの生地がふわふわで至福の味。コーヒーとのセットはプラス300円。

壺枚乃絵 海辺のテラスカフェ

いちまいのえ うみへのテラスカフェ | 赤穂市

たつの市揖西町で45年、上質な豆の味や香りを生かし直火にこだわって自家焙煎するコーヒー専門店が赤穂の「丸山県民サンビーチ」で昨年11月に開店。「本店は山深い環境なので海辺で店がしたいと探し、巡り合った場所。目にした瞬間、遮るものが何もなく真っ青な海と空が広がる景色にひと目ぼれ。海を感じながらぜいたくな時間を」とオーナーの松尾千秋さん。注文が通ってから約20分かけて焼くパンケーキは赤穂店だけのお楽しみ。空を映して刻々と色を変える海を眺めていると、遠くへ旅した気分。

▷赤穂市尾崎丸山2300-3 丸山県民サンビーチ内 ☎0791-56-6028 午前9時～午後5時(モーニングは午前11時30分まで。ランチは午前11時30分～午後1時30分。パンケーキは午後2時～午後4時15分。いずれもラストオーダー) 水曜(祝日の場合翌日)休 ◎あり 道案内/電車→JR赤穂線播州赤穂駅からタクシー約15分 車→山陽自動車道赤穂ICから国道250号線を経て南東へ約18分



播磨灘沿いに海岸線が続き、リゾート気分が楽しめるグッドロケーション。店内からも海が見えるように設計。オリジナルの直火式焙煎機でローストするコーヒーは豆ドリッパックも販売。



「好き」が詰まった
夢いっぱい
小さな村。

27年前に外国の家をイメージして建てた自宅を改装し、カフェ[harappa]に。体に優しい素材のランチやスイーツが評判。取材時は韓国フェア中でキムチやナムルが副菜に。和風生クリームバスタランチは副菜3種とスープ付き1,200円。ナッツと生キャラメルタルト、紅茶各450円。ティーコゼも愛らしい!

カフェ



zappa村 ザッパむら | 姫路市

山のふもとにかわいい建物が1つの村のように並ぶ複合施設。手づくりが大好きな小野由起美さん、野阪愛由さん母娘が自宅1階で雑貨&洋服の店を始めて14年。2人の「好き」を集めた世界が広がるにつれて建物も増え、今ではカフェ、手芸材料店、花屋、レザークラフト店、美容室と実に多彩な店が集う。緑の庭にはコンテナを用いたピZZAの売店が新しく、現在も進化中。「年代や性別を問わず誰もが来やすい公園のような場所に。気軽に参加できるワークショップも」と娘で社長の愛由さん。手づくりのアイデアや温もりに触れてワクワクする。

▷姫路市石倉54-7 ☎080-2356-9571 (ザッパ本店) ☎079-227-6481 (はらっぱ) ☎079-228-8380 (ざっぱこ) 午前11時～午後4時 火曜休 ②20台 道案内/電車→JR姫新線太市駅から北へ徒歩約15分 車→山陽自動車道山陽姫路西ICから北西へ約3分



カラフルな建物が並び、おとぎの国のように。ワークショップなどで貼られたタイルもい感じ。白壁の「テコボコハイム」は「心も体も健康に」をテーマに、1階は就労継続支援B型事業所「てこぼこ」、2階では美容室とカフェを営業。



雑貨店



[zappa本店] (上)は自然素材の洋服やハンドメイド雑貨に目移り。愛由さん、由起美さん着用のさり織布などをパッチワークしたスカートは一点もの(左下)。「ざっぱこ」(下)は国内外の手芸パーツ店。オリジナルタイル柄を型押しした革製ギャルソン財布17,380円。

手芸店



お庭も!



李さん、美由紀さん夫妻によるもてなしが温かい。李さん自ら内装を手がけた空間は、韓国の新聞紙を壁のデザインに取り入れるなど、古民家らしい懐かしさとモダンさが同居。ゆるりと過ごせる。



〈サムジャン〉というみそをのせ、副菜を葉野菜に包んで味わうサムバブは、韓国では専門店もある人気料理。サバの煮物やチャブチェなど10種以上の副菜とともに。1人前2,420円(注文は2人前から・要予約)。3～5月の限定メニュー。ビビンバなど通年の定食は1,100円から。

ギャラリー

店の隣には[ギャラリー庫(くら)]。李朝時代に確立された粉青沙器(ふんせいさき)の技法にこだわり[玄齋窯(げんさいがま)]を開く李さんの作品や日用の器を展示販売。手づくりの立派な登り窯も必見。



韓国の里山を訪ねたい!
素元さんの家庭料理。

周囲を山々や田んぼに囲まれた里山の古民家を、食事処とギャラリーに。まるで韓国の郊外で暮らす知人宅へ遊びに訪れたような牧歌的な雰囲気。

水刺間 スラッカン | 丹波篠山市

のんびりとした丹波篠山の里山に佇む韓国料理店。陶芸家であるオーナーの李壽英さんは約20年前に来日し、ギャラリーを訪れた人にふるまっていた韓国の家庭料理が評判を呼んだことから店を開いた。「サムゲタンやキムチチゲなど、1つ1つ丁寧に調理した滋味深い味わいをぜひ楽しんで」。中でも3～5月限定で登場するメニュー〈サムバブ〉は、いろんなおかずをみずみずしい葉野菜に包んで味わうおもてなし料理。韓流ドラマのワンシーンのようにテーブルいっぱいに目にも美しい料理が並んで豪華。五感が喜ぶ。



▷丹波篠山市今田町今田197 ☎079-597-3172 午前11時30分～午後2時30分(ラストオーダー。夜は午後5時から) 月曜(祝日の場合営業)と第2火曜休 ②6台 道案内/電車→JR福知山線古市駅からタクシー約12分(常駐なし) 車→舞鶴若狹自動車道三田西ICから北へ約25分

ハワイアンカフェ Ririha リリハ | 多可町

のどかな田園風景の中にあるハワイアンカフェが昨年6月にメニューを一新。グルメバーガーの巨匠と名高い丹波市[市島製パン研究所]の三澤孝夫さんが監修するハワイアンバーガーが新たな名物として登場した。「地元の黒田庄和牛のパティとパイナップルの甘酸っぱさが相性抜群です」と店主の北藤華乙さん。他にもロコモコやガーリックシュリンプ、パンケーキなどハワイのローカルメニューが南国ムードを盛り上げる!

▷多可郡多可町中区天田50-1 ☎0795-32-5508
午前8時～午後5時30分(モーニングは午前11時まで。ランチは午前11時～午後3時。いずれもラストオーダー) 水曜休
◎30台 道案内/電車→JR加古川線西脇市駅から神姫バス、鍛冶屋南下車徒歩約2分 車→中国自動車道滝野社ICから国道175号線～国道427号線で北へ約30分



ロコモコプレート1,265円。テイクアウトメニューも豊富。「少しの間日常を忘れてハワイで過ごす気分を味わってほしい」。北藤さんは併設のスタジオでフラダンス教室も開催。



田園の中、
ハワイ気分
でゆっくりと。



ボリューム満点なハワイアンバーガー990円。衣にもち粉を使ったサクサク食感、ランチのモチモチキンブレート1,265円。いずれもプラス275円で飲み物付きに。青い空の下、テラス席もリゾート気分。



生ハム、グルエールチーズ、卵を使ったモンターニャード(山村風)1,430円。ガレットはそば粉を使う食事系が約20種類、小麦粉でつくるスイーツ系が11種類と多彩。

本場
ブルターニュの
ガレットに
感激!



小林駅のすぐ横にある一軒家店。「バターをたっぷり使い、塩味がアクセントになったブルターニュの焼き菓子も人気です」とエリックさん、真理さん。

グウェン・アドウ | 宝塚市

フランス北西部・ブルターニュ地方出身のエリックさんと奥さまの真理さんが営むガレット専門店。「ガレットはブルターニュの郷土料理で、関西でいえばお好み焼きみたいなもの」とエリックさん。そば粉100%の生地をひと晩発酵させて焼き上げることで、外はさくっと香ばしく、中はもっちりとしたおいしさ。包む具材の多彩さも魅力的。素朴だけれど暮らしの中で愛されてきたフランスの味を楽しみたい。

▷宝塚市千種1-12-11 ☎0797-73-5511

午前11時～午後8時(金・土曜は午後9時30分まで) 日曜・祝日休、不定休あり
◎なし 道案内/電車→阪急宝塚線小林駅から北へ徒歩約1分 車→中国自動車道宝塚ICから南西へ約10分

